

**【「防衛技術指針2023」(2023年6月28日策定)】**

- 「将来にわたり、技術で我が国を守り抜く」という将来像を実現する2つの柱。
  - ① 将来の戦い方に直結する機能・装備を迅速に創製し、5年又は10年以内に**早期装備化**。
  - ② 10年以上先を見据え、**官民連携の下で、技術的優越を確保**し他国に先駆け先進的な能力を実現。
- 従来の考え方にとらわれず「創る」「育てる」「知る」の取り組みを進める。
- 我が国を守り抜くための機能・能力を実現するために必要な技術分野として、12の「**我が国を守り抜く上で重要な技術分野**」を特定。
  - ・隊員の負担、損害を局限しつつ、隊員以外の付随的な損害も局限する無人化、自律化
  - ・従来使っていなかったプラットフォームの活用
  - ・従来使っていなかったエネルギーの活用
  - ・新たな機能を実現する素材・材料、新たな製造手法
  - ・より早く、正確に情報を得るためのセンシング
  - ・膨大な情報を瞬時に処理するためのコンピューティング
  - ・これまで見えなかったものの見える化
  - ・仮想、架空情報をあたかも現実かのように見せる能力
  - ・未来の状況を予測して先手を打つ判断能力の強化
  - ・組織内外において、どこでも誰とでも正確、瞬時に情報共有を可能とするネットワーク
  - ・効率的、効果的にサイバー空間を防御する能力
  - ・認知能力の強化